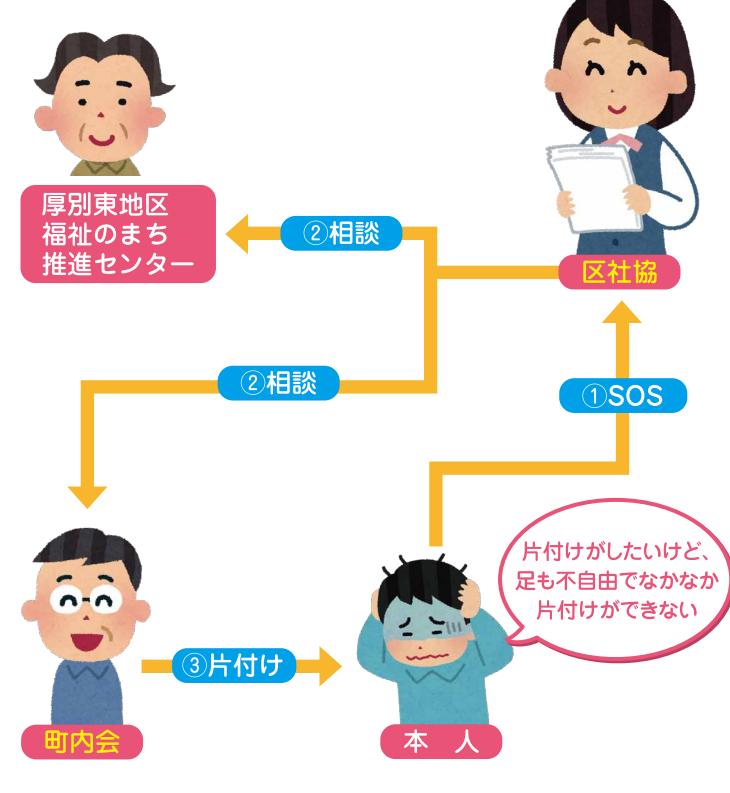


厚別東地区 地域での支え合いの仕組みの大切さを学びました。

相談の流れ



～日常生活の支援～

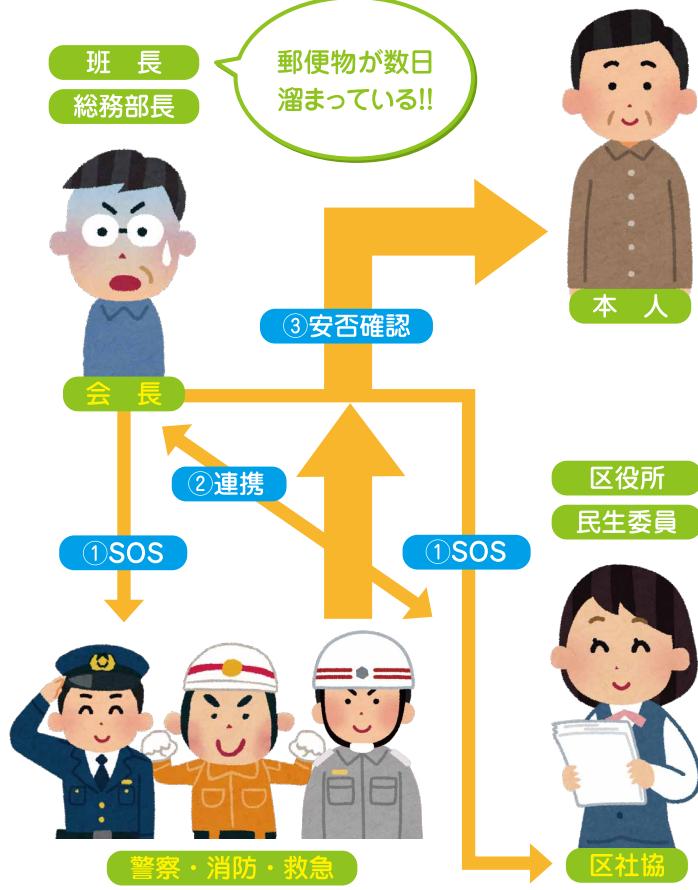
お一人暮らしの男性の方から「自宅を片付けたいけれども足が不自由でなかなか1人では片付けができない。」という相談が区社協に入りました。

足に怪我をしたことがきっかけでゴミを室内に溜め込んでしまうようになり、外出もしなく、転居してきたばかりであまりご近所の方ともつながりがないという状況でした。

ご本人の了承のもと厚別東地区福まち、町内会の福祉推進委員会に情報提供をし支援をしてくださる方を募りました。福祉推進委員から数名支援をして下さる方が集まり、区社協と一緒にご本人宅を清掃しました。

清掃を福祉推進委員の方と一緒にすることで、部屋が片付くだけではなくご本人と町内会との繋がりも構築されました。

相談の流れ



～見守り活動の支援～

「郵便物が数か月分溜まっている」と広報さっぽろを届けに行った町内会班長から総務部長に連絡があり、福祉推進委員長(町内会長)のもとに連絡がありました。

お一人暮らしの高齢者であったため民生委員や福祉推進委員長も数日間、本人宅を訪問したり電話での連絡をしましたが本人に連絡がとれず区社協に相談が入りました。

福祉推進委員会と区社協で連携し、ご本人について出来るだけ情報収集を行い委員長より警察に連絡していただき、消防、救急へつながりました。

本人宅の窓の鍵が開いていたため、警察が中に入ったところ家の中には誰もおらず、その後ご本人が病院へ入院していることがわかり今回大事には至りませんでしたが、日頃から見守り活動で顔を合わせ、気にかけあうこと、異変に気付いた時には福祉推進委員会に相談することの重要性を改めて知るケースとなりました。